
『良友』画報と言語 — 美術分野を中心に

孫 安石／鈴木 陽一／村井 寛志

『良友』画報を取り上げた本共同研究は、2017年、言語研究センターの出版助成を受け、孫安石・菊池敏夫・中村みどり編『上海モダン『良友』画報の世界』（勉誠出版、2018年）を上梓することができ（本ニュースレターの【言語研究センター叢書】1の紹介を参照）、2018年からは「『良友』画報と言語－美術分野を中心に」というテーマで新たな研究をスタートした。すべての共同研究の活動記録は、研究会HPの <http://liangyou.jugem.jp/> に内容を一般公開している。以下、2018年4月以降の研究会の活動を記す。

(1) 『上海モダン『良友』画報の世界』合評会
(6月9日)の実施

日時：6月9日（土曜）4時～6時

場所：神奈川大学・横浜キャンパス20号館212室

内容：

- (1) 『上海モダン『良友』画報の世界』合評会
- 1 文学の視点から（鈴木 将久、東京大学文学部）
 - 2 地図と場所への視点から
(木之内誠、首都大学東京)
 - 3 テーマを限定せず、感想をいくつか
(邵迎建、東洋文庫研究員)
- (2) 今後の予定 — 地図の論考と上海歴史文化事

典の出版について

(2) 新着資料の紹介 (2018年、7月2日)

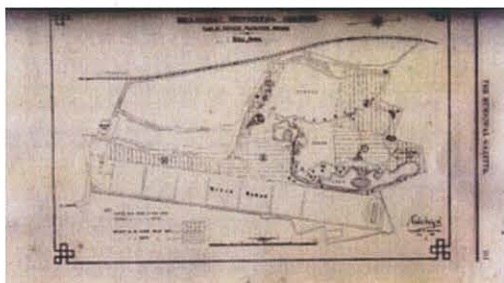
◎上海租界工部局 董事会会議録 1854～1943年
The Minutes of the Shanghai Municipal Council.
From Shanghai Classics Publishing House and
Shanghai Municipal Archives. Contents: 14,758
pages.

上海工部局の方針決定組織であった董事会の、1854年7月から1943年12月まで会議録。議題は、公衆衛生、交通、通信、郵便、租税、都市計画、ガス供給、街路照明、人力車夫の管理、動物保護、警察等、多岐にわたる。1854年7月から1906年12月までは手書きで、それ以降はタイプ文書。89年間におよぶこの会議録は、湾岸の小都市から中国経済の中心地へと変化をなし遂げた上海はもとより、近代国家建設、国共内戦、日中戦争といった中国の激動の歴史をも反映する資料となっている。

◎上海租界工部局公報

Shanghai Municipal Council: The Municipal Gazette, 1908-1940. From Shanghai Library. Contents: 14,824 images.

上海共同租界の日常問題やインフラを管理した西洋人によって1854年に組織された上海工部局 (Shanghai Municipal Council) は、1880年代半ばにはガス、電気、水道等を管理し、さらにはアヘン販売も規制した。Municipal Gazetteは、公式機関紙として1908年から1940年まで刊行された。



(出典: Plan of HONGKEW Recreation Groundの図面、1908年、No18より)

毎週金曜日に発行され、通知、各部門の報告、読者からの手紙、議事録、予算、歳入の月間集計、収入と支出の決算書などが掲載されている。

(3) 「円卓会議—中国・上海都市研究の新動向」
の実施

日時: 2018年11月9日 (金)・10日 (土)

場所: 中国・上海社会科学院

共催: 神奈川大学非文字資料研究センター・上海
社会科学院歴史研究所・りそなアジア・オ
セアニア財団

《プログラム》(一部)

【報告】

(1) 『良友』画報の論文集刊行後の余談—スポー
ツとKODAK、そしてShanghai Municipal Coun
cil 英文資料について

(孫安石、神奈川大学非文字資料研究センター
研究員)

(2) 上海文化と香港・華僑

(村井 寛志、神奈川大学非文字資料研究セン
ター研究員)

(3) 『良友』画報の研究—百貨店

(菊池 敏夫、神奈川大学非文字資料研究セン
ター研究員)

(4) 都市上海の中の創造社作家たち

(中村 みどり、早稲田大学商学学術院准教授)

(5) 中華民国期上海の日本人「戯迷」たち

(森平崇文、神戸学院大学グローバル・コミュニ
ケーション学部准教授)

(6) 「中国料理」はいつ生まれたのか—人民共
和国初期の北京と上海

(岩間 一弘、慶應義塾大学文学部教授)

(7) 上海のキリスト教一戦後、そして現在

(石川 照子、大妻女子大学比較文化学部教授)

(8) 中華民国期の「漫画」と「キャラクター」

(城山 拓也、立命館大学言語情報センター外国
語嘱託講師)